

Rosario Quarterly Information



広報 ロザリオ

第147号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

巻頭写真 「ワークセンター 土曜通所外出 By 飯岡灯台」	1	マイクロバス納車	9
平成30年度事業計画概要	2	職員募集のお知らせ	9
松井安俊評議員 叙勲	3	ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画	9
後援会会長就任にあたって	3	ロザリオの聖母会女性活躍推進法行動計画	10
ロザリオの聖母後援会より	4	新任者紹介 / 今年度の入職員	11
所長就任ご挨拶	4	寄附者御芳名	11
連載 私の新人時代⑩ 「法人理念と不思議な縁」	5	フォトギャラリー	12
合同研修発表会	6	行事予定	14
『地球の裏から帰りました!』	7	ボランティア募集のお知らせ	14
銚子商業高等学校吹奏楽部スプリングコンサート	8		

平成30年度事業計画概要

専務理事 石毛 敦

本年度は前年度から完全施行された改正社会福祉法に基づく事業運営の2年目となる。利用者・家族、行政、地域社会などさまざまな利害関係者に対する説明責任を果たすため、評議員会、理事会、監事、会計監査人の各機関によるガバナンスとコンプライアンスを前年度の改善点も踏まえて徹底させたい。

また、業務遂行の適正さを保障するために自律システムとしての内部統制の整備と完成を目指す。このために会計監査人、内部監査室、内部監査人が緊密に連携しながら問題の洗い出しと修正に対処する。

本年度の重点項目として、

①施設・事業所管理面では入所系、通所系、居住系、訪問・相談系の形態別に、それぞれの特色を生かし、資源を有効活用できるように目標を設定した。

②我々の本務である利用者サービスに関しては、利用者個人の権利尊重と擁護、質の高い適時のサービス提供、それらの下支えとなる施設・設備の改善や整備を三つの柱として挙げた。

③利用者、職員のリスク管理では、ドライブレコーダーの更なる普及促進による交通安全対策、感染症の予防拡大対策、フィジカル・メンタル両面の防災対策、マンパワーの再生産のためのワークライフバランスを新規に盛り込んだ。

④社会貢献活動では、旭地区ではMadoka事業による子ども食堂、佐原駅近隣に開設した駅前サロンによる地域住民の方への憩いや触れ合いの場の提供を盛り込んだ。

ここ数年来の最大の懸念材料は、少子高齢化による求人難である。本会だけの問題ではなく本

邦全体の問題でもあるが、識者によれば「日本の総人口はこのままだと50年で3分の2の数になり、100年で半減していく。2040年には自治体の半数が消滅する。」とのこと。世界的な国難と感ずるが、「陰極まって陽生ず」の譬えのように、長期的には負の状況から好転するであろう。

種々の要因が複雑に絡み合った構造的問題であるため、即効的処方箋は見当たらないが、急激に減少する就業者数で今までと同じような経済活動を保つためには何よりも生産性の向上が肝要と思う。業務の見直しによる不要不急の慣例的な業務削減も一法である。

働く意欲と能力のある60歳を超える方々の活用も有力な手段であり、本会では本年度よりシニア職制度を本格運用する。日本人の排他性に因る難しさもあるが、EPA等による外国人労働者受け入れも検討したい。

某シンクタンクとイギリスの大学の共同研究では早ければ2025年、遅くても2035年

には日本の労働人口の49%がAIやロボット等で代替可能との衝撃的な発表が数年前にあった。一方、医療・福祉業界は代替可能性の低い業種としても列挙されている。これらの技術革新は我々の業務の一部代替や補完は可能でも完全代替は難しいかも知れない。また、他業界のAI・ロボット化進展により、福祉・医療業界への失業なき労働移動が発生する好機となるかも知れない。

進化の方向性や結果は流動的であるが、少しでも生産性を向上し、サービスの質と量を維持し、職員の負担を軽減するために、先鞭を付けてこれらのICT技術の果実である最新の機械・器具の導入検討を積極的に進めたい。



松井安俊評議員

叙勲

法人本部 事務局

高齢者叙勲で、本会評議員の松井安俊さんが瑞宝双光章（教育功労）を受賞しました。松井評議員は昭和21年に海上郡富浦村国民学校に奉職して以来、八日市場市立平和小学校長で退職されるまでの43年余りにわたり、生徒指導や地域教育の環境整備に努め、教育条件向上と教育指導の充実に尽力されました。

本会においては平成11年1月より監事、平成17年3月に理事、そして平成29年4月の制度改革にあわせ評議員に就任されました。現在においても第三者委員として御助言・御指導を賜り、ロザリオ福祉作文コンクールの審査員においては、毎年沢山集まる応募作品すべてに目を通され、講評を頂いております。他にも



平成29年12月9日
ロザリオ福祉作文コンクール授賞式にて

海匠ネット
ワークの運営委員などを行い、本会のみならず海匠・香取における地域福祉向上のため、精力的に活動を続けております。

後援会会長就任にあたって

後援会会長 冨田哲雄



平成30年度がスタートしました。春は新しい一步を踏み出すチャンスです。今年の冬の寒波は、今までになく強力だったように思われますが・・・その分、今の春の日差しは暖かく心にしみるものがあるでしょう。

この度、歴史あるロザリオの聖母会の後援会長を米本弥榮子前会長からバトンを受け、お引き受けしました冨田哲雄と言います。早速、65年記念誌等の資料を読みましたが勉強不足でまだまだ不安いっぱいではありますが理事会等の会議に出席したり、後援会役員の皆様のご指導ご協力をいただき意味ある後援会になるよう努力していきたいと考えております。

で、よろしく願います。

そして、また私、この後援会長スタートのきっかけとなったのは、ちょうど38年間の教員生活・市教育長2期8年のあわせて46年間の仕事を終え、少しホッとしている時でした。余裕ができたのか廻りが見え、気付いたことが「46年間勤めあげた」と言うことではなく、家族を含め多くの皆様に支えられ「働けたんだな。」としみじみ思ったところでした。そのためには今まで支えていただいた分、多くの皆様が前向きな一步を踏み出し、その後押しができるように、さらには自分自身も今を大切に足元を見つめ、今しばらく新しい道で努力前進してみようと思いを決めたものです。

今の私のカバンの中は、何もなくカラっぽです。これから皆さんと一緒にひとつずつ丁寧につめていければと考えていますので、どうぞよろしく願います。

最後に、ロザリオ聖母会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

ロザリオの聖母後援会より

【海上療養所】

海上療養所では平成29年度後援会よりご寄附を賜り、念願であった共同浴場浴室の改修工事を完遂する事が出来ました。共同浴場は平成7年の竣工以来、多くの患者様に休みなく利用されてきましたが、経年劣化による故障や不具合が目立ってきたため、改修工事を行う

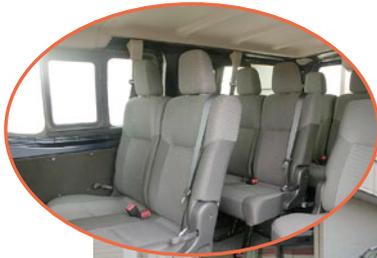
事と致しました。今回の改修により衛生面をはじめ、利用するすべての患者様が満足できる浴室となり、御寄附をしてくださいました後援会の皆様にあらためて感謝申し上げます。



【聖家族作業所】

聖家族作業所では、平成29年度後援会よりご寄附を賜り、昨年12月に新しく日産キャラバンを購入しました。

主に匝瑳方面の送迎車として活躍中です。今までの車両よりもゆったりとしたシートで、ご自宅や作業所までの道のりを、より快適に過ごして頂けています。今後も安全運転を心掛け、大切に使用していきたいと思えます。



所長就任ご挨拶

ワークセンター 所長 林裕美子

この度、前任齊藤惣一より業務を引き継ぎ、所長に着任いたしました林と申します。平成4年にロザリオの聖母会に入職し、聖マリア園、聖マリアデイサービスセンター、障がい者の就労促進事業所

みんなの家でお世話になり、この3月にワークセンターへ異動して参りました。ワークセンターは平成8年8月に、無認可の精神障害者小規模共同作業所として開所されました。元々海上療養所の第2作業所の位置づけで、職員と利用者が元気に漬物を販売していたことが記憶に残っております。現在は制度も変わり、就労継続支援B型事業として運営し、41名の方が利用されています。作業は印刷、部品の組み立て、野菜の袋詰めやパックのシール貼り、清掃、リサイクルと幅広くなり、出勤してラジオ体操が終わると、各々のポジションについて納品に間に合うよう取り掛かる毎日です。その他週に2日、海上療養所で『喫茶しおさい』

を営業させていただき、接客をしたり、法人内の施設と契約して清掃業務を行う利用者もおります。このように日々活躍されている利用者の平均年齢は、ほぼ50歳。制度上、働いて工賃を貰える事業所となつてはいますが、「地域の中でその人らしく暮らせる環境」を考えた時、ワークセンターとしては利用者の居場所としても、安心して通える場所でありたいと思っております。「今日も働いたなあ。」「来て良かったなあ。」と言っていただけのように。そして人とのつながりを大切に、ゆつたりとした気持ちで、頼もしいスタッフと一緒に、未熟者ではございますが歩んでいこうと考えております。

仕事を頂いている企業様、官公庁様をはじめ、地域の皆様へ厚く感謝申し上げますと共に、今後ともご指導ご協力のほど、よろしくお願いたします。

海上療養所で『喫茶しおさい』

連載 私の新人時代 ⑬

「法人理念と不思議な縁」

ナザレの家あさひ 所長 荒井隆一

私が入職したのは平成9年4月、聖マリア園が始まりでした。

その前の年の夏休み、県内のいくつかの事業所を見学で回っている中で、この法人に来た時のこと。

私は見学のために来たのですが面接のような形になり、しかも「就職したいのであれば1名しか募集していない中で、今3名が実習に入っているからそこで決まってしまうたらもう採らないよ」と言われました。当時、実家に住んでおりここまで来るには4時間近くかかりましたので、流石にそのままとはいかず、それでも催促されるような感じを受けて結局翌日から1週間の実習に入ります。結果、採用していただきましたが私がいた学校で1番という速さでした。また、これには後日談があり4月に入職したのは聖マリア園だけでも10名ほどいて、同期のみんなに聞くと、その中でも私は一番に就職が決まっただけで「1名しか採らない」と言われたあの言葉は何だっ

たのだろうか？騙されたのかな？と思ったことは良い思い出です。

入職してすぐに研修を受けるわけですが、その際に言われた言葉「二人のためでもやりなさい」と

いうのが、今の私の原点になっています。当時はその言葉だけを捉えてしまっていました。いつの頃からかこれがこの法人の理念であったことに気付かされます。創始者の方々は、「この法人は社会全体の所有なのであって、社会から私達がお預かりして経営しているのです。私共はだから経営上、社会全体に対して責任があるので」と語られています。海上療養所という医療機関から事業を始めたにも関わらず「社会福祉法人格」を採って事業展開をされてきた想いはその言葉に詰まっているのだと感じます。世の中、大変なことや困難なことからはみんな目を背けたいです。関わり合いからは避けようとする中、この法人ではそこから目を背けること無く、

しっかりと対応する。これは言葉で言うのは簡単ですが、とてもむずかしいことだと思えます。しかし、私が学生時代にこの仕事をしたいと思った

時に自分が働きたいと思った職場はそのようなことを考えられる所でした。ですの

で、騙されたと思

いながらもこの法人に就職できたことはやはり何かの縁なのかもしれませ

その後、聖母療育園に所属させていた人内の全事業所を1ヶ月程度研修で回らせていただきました。これも自分にとっては貴重な経験で、それまで聖マリア園という施設しか知らなかったのが、同じ法人内でこんな



事もやっているのかと知ることが出来ました。また、その間に全国の先進的な取り組みに関しても勉強させていただき、たどり着いた

のが「レスパイト」いわゆる制度外のサービ

ビスです。この辺りの地域にはそのようなサービスがなかったため「さぼりとセンター」を立ち上げます。これは制度に縛られず、「どんなことでも24時間対応します」と言うようなサービスになります。今現在は無くなってしまうかもしれませんが、本当は社会にとっては必

要なサービスであると感じています。前理事長の細瀬さんは常々「福祉とは幸せである」とおっしゃら

合同研修発表会

聖家族園 園長 中曾根才智

れていました。長く制度外の事業を続けられている「ばおぼぶ」の五十嵐さんは「制度のサービスだけをやっているのは駄目だ」と言うような事をずっと教え続けてくれました。当時はやはり意味が良くわかりませんでした。昨年ある方の話しを聞いて目の前のモヤが晴れた気がしました。それは現在の社会保障であるサービスでやっていることは「マイナスからゼロ」までの回復であり、福祉とは幸せなのでゼロで終わるわけではなくそこからプラスに引き上げることも考えていかなければならない。しかし、それをサービスだけでやろうとすることには限度がある。と言うような話です。私達が本当に望むことは利用者さん方の「幸せ」であり私達職員の「幸せ」であると思います。広報ロザリオ84号のコラムの最後に書かれていた「子どもの職場では、誰かがやるだろうという考えは捨てましょう。私の分野ではないということもやめましょう。気がついた人がやる。そのような人間の集まりでありたい。」この事を忘れずに、これからも働いていければと思います。

3月3日(土)第26回ロザリオの聖母会合同研修発表会が聖母通園センター二階で開催されました。

今回は、研究発表6題、施設紹介1題の発表が行われました。

海上療養所は「困難事例の他職種連携による地域移行について」と題して、入院患者に一人ひとり丁寧な目標設定を行い、地域移行できた事例発表でした。デイサービスセンター・ロザリオは「ローザにおける疥癬の集団発生の経過と対策報告」、疥癬の種類、感染経路、治療方針等細かく報告し、終息に向かった事例報告でした。聖母療育園は「排泄ケア改善の取り組み」と題し、ユニチャームのケアアドバイザーと共に、職員に何度もアン



ケートを行い、適切なオムツの種類や交換を研究した発表でした。佐原聖家族園は「無断外出がやめられない利用者の取り組み」として、短期入所の離園で近隣に迷惑をかけている事例発表。みんなの家は「働きやすい環境を目指して」として、アンケート結果から働きやすい職場環境を変えた事例発表。香取就業センターは「障害のある方が会社で働き続けるために」と題し、障害者雇用企業へのアンケート調査結果をひとつひとつ丁寧な考察を行い、利用者が働き続けるための研究発表でした。全体的に事例発表が多かったと感じましたが、それぞれの施設・事業所が、発表者だけでなく多くの職員が協力しあった発表でした。

家は「働きやすい環境を目指して」として、アンケート結果から働きやすい職場環境を変えた事例発表。香取就業センターは「障害のある方が会社で働き続けるために」と題し、障害者雇用企業へのアンケート調査結果をひとつひとつ丁寧な考察を行い、利用者が働き続けるための研究発表でした。全体的に事例発表が多かったと感じましたが、それぞれの施設・事業所が、発表者だけでなく多くの職員が協力しあった発表でした。

結果は、理事長奨励賞、香取就業センター・岡澤和則。敢闘賞は聖母療育園・岩井美樹が受賞しました。

今回は、約100名の参加者の研修会でしたが例年にはなく多くの質問があり、素晴らしい研修発表会になりました。

発表された7名の方々をはじめ、忙しい中で発表に携わった多くの職員の皆様、何回も打ち合わせを重ね準備に携わった合同研修委員をはじめ、開催にあたりご協力頂いた多くの職員の皆様にお礼申し上げます。

来年度もすばらしい研修発表会になるように一年間頑張ってください。



『地球の裏から帰りました!』

聖母療育園 リハビリ科 勝股歩美

オラー! コモエスタ? (スペイン語で、こんにちは! 元気ですか?)

その後、今度は、毎度お馴染み、思いっきり強い力でのハグ! で始まる朝。そんな陽気で愛にあふれている人たちに囲まれ、2年間に経ち、この人々が大好きでたまらなくなっていました。場の空気を、読まず、笑顔が多く、遠慮がなく、人との距離が近くて、完璧主義でない。治安が悪い、そんなことにも負けず人々は神様にみんなの幸せを祈り、冗談を言い合い笑い合っている、ハグを合い、助け合い、ラテンダンスをしたり歌ったり、家族との時間を大切に、その時々から日本に戻り、あつという間に約

3ヶ月が経とうとしています。

私は聖母療育園のリハビリ科に所属している理学療法士の勝股歩美と申します。2016年1月から現職参加という制度で、念願であった青年海外協力隊で理学療法士として中米のエルサルバドルという国に2年間派遣されていました。そして、今年1月中旬に帰国し、2月から聖母療育園へ復職しています。

私が派遣されていた国エルサルバドルは、メキシコの下で赤道よりも上に位置し、中米の日本ともいわれるくらい勤勉な人たちが多く、日本の四国程の大きさで人口は千葉県の人口と同じくらいの小さな国です。首都内は、一見途上



エルサルバドルの地図



独立記念日の祭り(首都)

国を感じさせないほどの住宅街や道路が見られる一方で、場所が変わればトタンで敷き詰められた家々が並ぶ貧困地域もみられます。このように貧富の差が非常に激しく、貧困地域に

は、エルサルバドルのギャングと言われる人たちが住んでおり治安も悪く、本当に支援の必要な地域に十分な助けが行き届きにくい状況でした。ほとんどの家族

の誰かしらはアメリカに出稼ぎに立っており、その送り金で生計を立っています。少し都心から離れると、道を牛や馬、鶏、山羊が歩いているところも多く、川で洗濯や体を洗っている人々がみられます。



田舎の家の中

活動先は首都にある国立の小児青少年総合リハビリテーションセ



同僚との利用者のリハビリ場面



センターのスタッフとの勉強会

ンターであり、同僚のセラピストに技術向上やリハビリの考え方についての勉強会などを実施し、また実際に利用者へのリハビリも行ってきました。現地の人で自動車を所持している人は裕福な家庭に限られ、利用者の多くがバス、タクシーを利用しており、遠方から通う場合は、バス停までの歩きや乗り換えなどでリハに往復1日かかります。交通費や労働時間短縮により生活が厳しくリハビリの継続が困難になる場合も多い状況でした。活動初期は、このような利用者の生活状況・ニーズを知らずに機能訓練だけをすれば良いとされていたが、徐々に利用者生活を把握する必要性と、訓練

と生活がどのようなつながっているのか理解を深めようと一緒に動き出してくれる同僚が増えたことはとても励みになりました。

自分の無力さを感じる場面も本当に多かったです。田舎へ家庭訪問した時に、貧しい家庭で障がいを持つ子の育児を家族が放棄せざるを得ない状況で、結果、子どもの命を救えなかったことがありました。日本であれば、制度で保護できるのですが、エルサルバドルではそのよう

な制度はありません。これは本当に辛く悲しかったです。

素敵だと思っ

ったことは、

4月2日「世

界自閉症啓発

デー」、3月21日「世界ダウン症

デー」、10月6日「世界脳性麻痺

の日」などの日には、利用者や家

族、センターのスタッフみんな

街を行進したり、ピエロを呼んで

家族も巻き込んだ楽しいイベント

を大々的にしていたことです。

まだまだ、書きたいことは多く



田舎へ家庭訪問した時の様子

ありますが、ここには書ききれませんが、この辺りまで。2年間異文化の中で活動できたことは、現地の人々や同僚たち、そして日本でサポートして下さった多くの皆様、そして現職参加を認めて下さったロザリオの聖母会の皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。この経験を活かし、地域の皆様の力になれるよう、精進して参ります。ご精読ありがとうございます。



世界自閉症啓発デーのイベント



銚子商業高等学校吹奏楽部スプリングコンサート

【4月30日 3時30分】



桜咲く暖かな季節、今年も3月30日にスプリングコンサートが開催されました。

9曲の演奏ではフルート四重奏のやさしい調べに、また懐かしいアニメの主題歌には会場の利用者さんも一緒に歌い、楽しい時間を過ごすことができました。最後には会場からの力強いアンコールにも快く応えて頂き、会場は華やかな雰囲気終始包まれていました。

千葉県立銚子商業高等学校・吹奏楽部の皆様、ありがとうございました。

聖家族園 石川和彦

マイクロバス納車

佐原聖家族園 小曾根歩

佐原聖家族園では、新しくトヨタコースターバスが納車されました。休日のドライブ活動や小舎外出など幅広く、様々な用途で活躍しております。利用者は新しいバスを見て笑顔になり、いざ乗車すると大変喜びの声が聞こえました。支援員(運転手)は、安全・安心な運転を心掛け大切に使用していきたいと思えます。



《職員募集のお知らせ》

ロザリオの聖母会では、「光のあたりにくい人々とともに歩む」という経営理念の下、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう、複合施設を経営するとともに、地域生活支援のため訪問、相談サービス事業等も実施し、利用者の豊かな地域生活を支援するよう努めています。職員の福利厚生、研修、育児介護休業制度等働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

□平成31年4月新卒職員募集

職種	採用数	事業所	資格
支援員	15名	障害者支援施設	短大専門卒以上 普通運転免許

□既卒3年以内の正職員も上記と同条件で随時募集中！

□障害児者医療に携わる看護師も随時募集中！

◆応募 随時面接を行っていますので、本部事務課までご連絡ください。

0479-60-0600 (担当/採用係)

ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画

全ての職員が働きやすい環境を整備することによって、その能力を十分に発揮できるようにするとともに、子育て中の職員が、仕事と子育ての両立を図ることができるよう、次のように行動計画を策定する。

1 計画期間 平成30年4月1日から平成33年3月31日の3年間
第5期(平成30、31、32年度)

2 内容

目標1 【有給休暇の取得率】

- ①年次有給休暇の取得率を60%以上を維持する。
- ②取得日数の少ない部署の把握及び取得できない原因を検討する。
- ③取得日数の少ない部署の職場管理者に対して指導、並びに取得できない状況を改善し、取得しやすい環境に整える。

目標2 【妊産婦に対するの処遇配慮】

- ①妊産婦に対して、妊娠判明時から産後1年間は夜勤の免除をする。
- ②妊娠判明時から産後1年間は就業規則上の休日労働・時間外労働をさせない。
- ③上記2項については、本人の希望する場合のみとする。

目標3 【子育て中の職員に対するの処遇配慮】

- ①未就学児の育児を理由に常勤からパートタイマーへ勤務体系の変更を希望する職員に対して、いつでも常勤に戻れるという条件での変更を認める。

目標4 【子の看護休暇制度を上回る処遇改善】

- ①子の看護休暇を取得しやすくするため、年5日の無給休暇の内3日を特別有給休暇扱いとする。

3 対策

- ・法人の月報(職員向け広報紙)や法人内LANを活用して周知・啓発を実施します。また取得結果を職員に公開します。
- ・管理者は、有給休暇の取得状況を把握し、取得しやすい環境づくりに努めます。管理者に対する研修を行います。
- ・管理者は、処遇配慮の対象となる職員の把握に努め、この行動計画についての説明と希望の有無を話し合い、希望に添う業務上の配慮を実施します。



ナザレの家あさひ



支援員

4月よりナザレの家あさひで支援員として勤務されています。利用者ややさしく、人の嫌がる仕事も取り組む姿勢に期待しています。

ロザリオ訪問介護事業所



訪問介護員

平成30年2月より訪問介護員として勤務しています。笑顔が可愛い穏やかな性格です。只今、旭市内の地理と調理に挑戦中です。

聖家族園



支援員

出産・育児とひと段落？非常勤から再び常勤に。いつも明るく元気よく！これからはあらゆる場面で活躍してくれるでしょう。

海上寮療養所



管理栄養士

高齢者施設で経験を積んできた、明るくまじめな方で。趣味のヨガのように柔軟性をもって精神科栄養士として活躍していただけると思います。



聖マリア園



支援員

聖マリア園に支援員として配属となった菱木裕人です。目標である社会福祉士資格取得を目指し、精一杯努力したいと考えています。

ロザリオ発達支援センター



支援員

ふたば保育園に配属することになりました鶴澤大樹です。専門学校で学んだことを生かし、子ども達と楽しく接していきたいです。

聖母療育園



作業療法士

まだまだ未熟な点が多いですが、これから多く学んで大きく成長していけるよう努力していきます。これからよろしくお願ひします。

ワークセンター



作業療法士

4月から入職しました。助けを必要とする人と共に歩むことができるよう努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



佐原聖家族園



支援員

佐原聖家族園でのアルバイトの経験を活かして4月からも頑張ります！笑顔を大切にしていきたいです。

ナザレの家あさひ



支援員

趣味はDIYや料理・手芸等で、笑顔と持ち前の明るさを元々に人との関わりを大切にしています。よろしくお願ひします。

聖家族作業所



支援員

私は、良く笑顔が素敵と言われます。なのでそれらを利用者の方々と接する時にも生かしていけたらなと思ひます。

看護師



看護師

利用者の方々や職場の皆さんに教えていただきながら、早くお役に立てるよう頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

支援員



支援員

右も左もわからぬ、笑顔だけが取り得の間ですが、利用者さんに優しい職員となれるよう努力していきたいと思ひます。

支援員



支援員

4月から社会人になり不安なことが多いですが、笑顔が素敵な支援員になれるよう頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。

- 鈴木 ヒサイ 様
- 秋山 世以子 様
- 飯島 英明 様
- 聖心女子学院 もゆる会 様
- 高橋 順子 様
- 江波戸 隆夫 様
- 旭キリスト教会 様
- 田辺 弘子 様
- 渡邊 公伸 様
- 芳賀 秀美 様
- 笠島 努 様
- 田村 和子 様

寄附者御芳名
 平成29年12月25日
 ～
 平成30年3月20日

法人本部



事務員

初めてのことはわかりで不安ですが、早く覚えて安心して仕事を任せてもらえるように頑張ります。よろしくお願ひいたします。

支援員



支援員

1日でも早くお仕事に慣れるように頑張ります。よろしくお願ひします。

Photo Gallery

農耕班

イルカのショー見たよ～



★聖家族園★

しいたけ班

成田山に全員集合！！



工作班



創作班

アンデルセン公園に到着！



クリーン班

帝釈天前で記念撮影



**三人並んで
みました。**

みんなでハイ、チーズ♪



飛行機大きいな～♪♪♪

★佐原聖家族園★

★ナザレの家かとり★

一年良いことありますように☆



**お賽銭の準備
バツチリ！**





★聖家族作業所★

★ワークセンター★

響け、
希望の鐘！！



海がとっても
キレイ♪



穏やかなひと時…

★みんなの家★



いちご狩りに
行ってきました！



甘くておいしかったよ♪

★聖ヨセフつどいの家★



卵焼き、僕に
まかせて！



足湯で
温まりました

★聖マリア園★



これから豆まき (^_^)v



鬼が出たぞ！！



鬼になりました

お悔やみ

本会元理事の鵜澤かねさん帰天

聖マリア園の初代園長で本会元理事の鵜澤かねさんが、本年3月11日に帰天されました。

鵜澤さんには平成3年4月1日から1年間、聖マリア園の園長として海匝圏域における地域福祉向上のために尽くしていただきました。また、平成10年9月30日から平成26年5月21日まで理事として本会の運営にご尽力を賜りました。

謹んでお悔やみを申し上げます。

行事予定

- 30. 4. 2 平成30年度辞令交付式、幹部職員懇談会
- 3 法人運営会議
- 4 総合安全対策委員会、経営会議
- 10 法人運営会議
- 11 経営会議
- 13 クリーンデイ
- 17 法人運営会議
- 18 施設事業所長会議、経営会議
- 24 法人運営会議
- 5. 1 法人運営会議
- 2 総合安全対策委員会、経営会議
- 8 法人運営会議
- 9 経営会議
- 15 法人運営会議
- 16 施設事業所長会議、経営会議
- 22 法人運営会議
- 25 ゴミゼロデー
- 29 法人運営会議
- 30 理事会
- 6. 2 安全運転講習会、職場説明会
- 5 法人運営会議
- 6 総合安全対策委員会、経営会議
- 8 クリーンデイ、バレーボール大会
- 12 法人運営会議
- 13 経営会議
- 19 評議員会
- 20 施設事業所長会議、経営会議
- 26 法人運営会議
- 7. 3 法人運営会議
- 4 総合安全対策委員会、経営会議
- 10 法人運営会議
- 11 経営会議
- 13 クリーンデイ
- 17 法人運営会議
- 18 施設事業所長会議、経営会議
- 24 法人運営会議
- 25 理事会
- 31 法人運営会議

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。

お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479 (60) 0600

(担当 仲條)

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトに
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

医療保護施設	海上療養所	訪問看護ステーション	就労継続支援B型事業所	ワークセンター	聖母療育園	医療型障害児入所施設・療養介護事業所	生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)	聖母通園センター	児童発達支援事業	ロザリオ発達支援センター	旭市子ども発達センター	障害者支援施設	聖マリア園	障害者の就労促進事業所	みんなの家	生活介護事業所	聖家族作業所	共同生活援助事業所	ナザレの家あさひ	高齢者支援事業	ロザリオ高齢者支援センター	ロザリオ訪問介護事業所	通所介護・介護予防通所事業所	デイサービスセンター・ローザ	障害者支援施設	佐原聖家族園	生活介護・放課後等デイサービス	聖ヨセフつどいの家	共同生活援助事業所	ナザレの家かとり	地域生活支援センター	友の会	中核地域生活支援センター	障害者就業・生活支援センター	海匝ネットワーク	障害者就業・生活支援センター	東総就業センター	香取市相談支援事業	香取障害者支援センター	障害者就業・生活支援センター	香取就業センター	障害者相談支援事業
--------	-------	------------	-------------	---------	-------	--------------------	----------------------------	----------	----------	--------------	-------------	---------	-------	-------------	-------	---------	--------	-----------	----------	---------	---------------	-------------	----------------	----------------	---------	--------	-----------------	-----------	-----------	----------	------------	-----	--------------	----------------	----------	----------------	----------	-----------	-------------	----------------	----------	-----------



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。